

<p>■計画期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>■支援対象者 ①不安定な就労状態にある方 ②就労を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方 ③社会参加に向けた支援を必要とする方</p>
--

<p>■目標 ①正規雇用を希望していながら不安定な就労状態にある方や求職中の方などに係る正規雇用者数を増やすことを目標とする。 ②就職を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方については、当事者や家族の希望に応じた支援により、就職活動へ踏み出す支援と就労等の職業的な自立を促す支援につなげることを目指す。 ③社会参加に向けた支援を必要とする方については、支援対象者の状況等を把握し、一人一人の状況に合わせた、就労に限らない多様な社会参加につながる支援体制の構築を目指す。</p>
--

いわて中高年世代活躍応援プロジェクト事業実施計画 工程表

1. 社会気運の醸成・効果的な周知広報に向けた取組

項目	取組	取組の概要	令和7年度実績	実績についての補足事項	実施主体
(1) 社会気運の醸成	中高年層(ミドルシニア)限定求人・歓迎求人の開拓・確保や就職面接会等への参加勧奨	中高年層(ミドルシニア)を対象とした限定求人・歓迎求人の開拓・確保や、就職面接会等への積極的な参加の勧奨を行う。	<p>【岩手県商工労働観光部 定住推進・雇用労働室】 8/11～12、12/6開催「いわて就職マッチングフェア」(主催:公益財団法人ふるさといわて定住財団 共催:岩手県)の周知(SNSを利用した広報、報道機関への投げ込み、チラシ配架)を行った。</p> <p>【労働局】 ・中高年層(ミドルシニア)を対象とした限定求人:42人 中高年層(ミドルシニア)を対象とした歓迎求人:1,305人 計:1,347人 ・セミナー開催数:9回、面接会:7回 ・委託事業において、中高年世代を積極的に採用している又は雇入れを検討している企業に対する雇用管理セミナー(2回)、能力開発施設(ポリテクセンター花巻)及び企業の見学ツアー(1回)を実施。</p>	【岩手県商工労働観光部 定住推進・雇用労働室】 同じく、2/14、3/16開催分についても周知を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済団体</li> <li>・経済産業局</li> <li>・岩手県</li> <li>・労働局</li> </ul>
	正社員転換の働きかけ	中高年世代の非正規雇用労働者に係る正社員転換の積極的な実施を働きかける。	<p>【岩手県商工労働観光部 定住推進・雇用労働室】 5/7～9に岩手労働局及び盛岡市と合同で商工団体等に対し、非正規雇用労働者の正規雇用転換及び就職氷河期世代の支援への要請活動を行った。</p> <p>【日本労働組合総連合会岩手県連合会】 2026春季生活闘争方針に就職氷河期世代の雇用の取り組みについて労働組合から会社側への働きかけを行うよう明記した。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済団体</li> <li>・労働団体</li> <li>・経済産業局</li> <li>・岩手県</li> <li>・労働局</li> </ul>
(2) 中高年世代、一人一人につながる積極的な周知広報	ホームページ、広報誌、メディア等を活用した周知広報	いわて中高年世代活躍応援プロジェクト協議会で実施する支援策等をホームページ、広報誌、メディア等様々なツールによる周知を実施する。	<p>【労働局】 ・岩手労働局ホームページのホーム画面に本省特設サイトへリンクの掲載、氷河期世代を含む中高年層の支援ページ等において、各種支援・イベント情報の周知を実施。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全機関</li> <li>・全団体</li> </ul>
	公共施設、商業施設等を活用した周知広報	各公共施設、コンビニエンスストア・スーパーマーケット、金融機関等を活用した広報を展開する。	SNS及びテレビCM等による、ハローワークの「35歳からの就職応援コーナー(ミドルシニア専用窓口)」の利用勧奨、電車の中吊り広告や駅構内のリーフレット配架ラジオCM等(委託事業)による中高年層の方々への支援について周知を実施した。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県</li> <li>・労働局</li> </ul>
	チラシや広告等による周知広報	公共施設配架等により事業周知チラシを配布するほか、SNS広告やデジタルサイネージ、サポステWEBサイトの改修等により情報発信を実施する。	<p>【盛岡市】 ・公共施設や関係機関へのチラシ配架やポスター掲示等により支援内容や面談会の開催について周知した。 ・SNS広告やリスティング広告の配信のほか、イオンモールやハローワークに設置されているデジタルサイネージでの情報配信を実施したほか、市ホームページや市公式SNSでの情報発信を実施した。 ・ミドル世代を対象とした支援内容を分かりやすくお知らせするため、サポステのWEBサイトを改修した。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡市</li> </ul>
ホームページ、広報誌、メディア等を活用した周知広報	事業紹介チラシの配布、市広報・HPでの周知のほか、サポステの利用者やハローワークの利用者に対し積極的な声掛けを行う。	<p>【一関市】 ・4月から12月までに実施したチラシ・ポスターの配架は、合計406箇所となった(1月は配架なし)。 ・新聞、HP、市広報、商工会議所広報等など、複数の媒体を活用して掲載し、広く周知を図った。 ・市内ハローワーク、職業訓練校、関係機関会議において事業説明会を実施し、関係機関に加えて、求職者や企業にも直接情報を届けることで、事業への理解促進と情報共有を図った。</p>	<p>【一関市】 ・公共施設から法人、就労支援機関まで幅広い場所に配架することで、若年層から求職者、地域住民まで、多様な層に事業情報を届けることを意図した。 ・ハローワークや職業訓練校、関係機関会議での説明会を通じて、支援機関との連携体制を強化し、対象者への情報伝達の精度向上と紹介ルートの確保につなげた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一関市</li> </ul>	

<p>■計画期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>■支援対象者 ①不安定な就労状態にある方 ②就労を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方 ③社会参加に向けた支援を必要とする方</p>
--

<p>■目標 ①正規雇用を希望していながら不安定な就労状態にある方や求職中の方などに係る正規雇用者数を増やすことを目標とする。 ②就職を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方については、当事者や家族の希望に応じた支援により、就職活動へ踏み出す支援と就労等の職業的な自立を促す支援につなげることを目指す。 ③社会参加に向けた支援を必要とする方については、支援対象者の状況等を把握し、一人一人の状況に合わせた、就労に限らない多様な社会参加につながる支援体制の構築を目指す。</p>
--

いわて中高年世代活躍応援プロジェクト事業実施計画 工程表

2. 安定就職に向けた取組（不安定な就労状態にある方への支援）

項 目	取 組	取 組 の 概 要			実施主体	
(1) 相談体制の整備・充実	ア ハローワークの窓口での就労支援	職業相談の充実	中高年世代求職者の多様なニーズに対応できるように、相談窓口の充実と求人者へ直接働きかけ、限定求人・歓迎求人の開拓及び、中高年世代の活躍の場の確保とマッチングを行う。	【労働局】 ハローワークにおける正社員就職件数 1,066人		・労働局
		中高年層(ミドルシニア)限定求人・歓迎求人・確保や就職面接会等の開催	中高年世代を対象とした限定求人・歓迎求人の開拓・確保や、就職面接会等への積極的な参加の勧奨を行う。	【労働局】 就職氷河期限定求人：42人 就職氷河期歓迎求人：1,305人 計：1,347人		・労働局
		ハローワークに中高年層専門窓口を設置、担当者によるチーム支援を実施	支援対象者の状況に応じた個別の支援計画に基づき、キャリアコンサルティングを行い、必要な能力開発施策へのあっせん、求職者の適性・能力等を踏まえた求人開拓、就職後の定着支援などを計画的かつ総合的に実施する。	【労働局】 チーム支援対象者数：217人（うち 正社員就職件数：69件）		・労働局
		マザーズコーナーによる支援	中高年世代のひとり親家庭の母・父の就業促進のため、専門担当者による職業相談、マッチング機会と職業訓練情報の提供及び就職支援セミナー情報の提供を行う。	【労働局】 （コーナーと同フロアの「35歳からの就職応援コーナー（ミドルシニア専門窓口）」において対応）		・労働局
	イ ジョブカフェいわての窓口での支援	ニーズに応じた多様な就労支援	中高年世代の多様なニーズに対応するため、キャリアコンサルティングや各種セミナー等、様々な支援ツールを活用した就労支援を実施する。	【岩手県商工労働観光部 定住推進・雇用労働室】 利用件数：985件		・岩手県
		e-ラーニング講座の実施	ミドル世代（中高年世代）の正社員化に必要なスキル等の習得を支援することに加え、企業の採用力や育成力向上を支援するため、各自のライフスタイルやペースに合わせて受講できるようにe-ラーニング講座を実施する。	【岩手県商工労働観光部 定住推進・雇用労働室】 ミドル世代向け：9講座 42人受講 企業向け：9講座 35人受講		・岩手県
	ウ もりおか若者サポートステーションでの支援	相談支援体制を強化	ミドル世代の就職やキャリアアップを支援するため、キャリアカウンセリング、適職診断、面接対策や応募書類の作成アドバイスを実施する。また、関連イベント等での出張相談に対応するなど、もりおか若者サポートステーションの相談支援体制を強化する。	【盛岡市】 もりおか若者サポートステーションにて、ミドル世代対象の相談窓口として「もりおかミドル世代就職サポートデスク」を開設し、就労開始や転職・再就職等に向けた支援を行った。 ・新規登録者 30人 ・就職決定者 36人 ・相談件数 延べ505件		・盛岡市
(2) 雇用機会の拡大・正社員転換等の促進	ア 中高年世代に特化した求人の拡大、マッチング機会の提供等	中高年世代限定求人・歓迎求人・確保や就職面接会等への参加勧奨【再掲】	中高年世代を対象とした限定求人・歓迎求人の開拓・確保や、就職面接会等への積極的な参加の勧奨を行う。	【労働局】 就職氷河期限定求人：42人 就職氷河期歓迎求人：1,305人 計：1,347人		・労働局
		企業向けセミナーの実施	中高年世代の採用・育成におけるスキルやノウハウ、県内企業における好事例等を提供することにより、当該世代の採用を促進するとともに、就職後も安心して働き続けられる環境を整えるため、企業向けセミナーを実施する。	【岩手県商工労働観光部 定住推進・雇用労働室】 3回実施 67社78人参加		・岩手県

<p>■計画期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>■支援対象者 ①不安定な就労状態にある方 ②就労を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方 ③社会参加に向けた支援を必要とする方</p>
--

<p>■目標 ①正規雇用を希望していながら不安定な就労状態にある方や求職中の方などに係る正規雇用者数を増やすことを目標とする。 ②就職を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方については、当事者や家族の希望に応じた支援により、就職活動へ踏み出す支援と就労等の職業的な自立を促す支援につなげることを目指す。 ③社会参加に向けた支援を必要とする方については、支援対象者の状況等を把握し、一人一人の状況に合わせた、就労に限らない多様な社会参加につながる支援体制の構築を目指す。</p>
--

いわて中高年世代活躍応援プロジェクト事業実施計画 工程表

2. 安定就職に向けた取組（不安定な就労状態にある方への支援）

項目	取組	取組の概要			実施主体	
(2) 雇用機会の拡大・正社員転換等の促進	中高年世代に特化した求人 の拡大、マッチング 機会の提供等	マッチングイベントの 開催	関係機関と連携し、中高年世代を対象としたマッチングイベントを開催。	【労働局】 盛岡市との共催により、令和7年9月2日に盛岡市勤労福祉会館にて合同就職面談会を開催した。 ○9月開催分実績 ・参加求職者 45人（うちミドル世代 39人） ・参加事業所 15社 ・面談件数 延べ60件（うちミドル世代 59件）	【労働局】 同じく、令和8年2月6日にキオクシア アイーナにて開催済み。 ○2月開催分実績 ・参加求職者 計71人（うちミドル世代は集計中） ・参加事業所 15社 ・面談件数 延べ107件（うちミドル世代は集計中）	・全機関 ・全団体
		ミドル世代と県内企業 のマッチング支援の実 施	求職者の希望に応じ、県内企業における会社見学や個別面談の実施から就職までの伴走支援を行う。	【岩手県商工労働観光部 定住推進・雇用労働室】 支援人数 31人		・岩手県
		合同就職面談会の開催	ハローワーク盛岡との共催により、ミドル世代とその採用を歓迎する事業者とのマッチングを図る合同就職面談会を開催する。	【盛岡市】 ハローワーク盛岡との共催により、令和7年9月2日に盛岡市勤労福祉会館にて合同就職面談会を開催した。 ○9月開催分実績 ・参加求職者 45人（うちミドル世代 39人） ・参加事業所 15社 ・面談件数 延べ60件（うちミドル世代 59件）	【盛岡市】 同じく、令和8年2月6日にキオクシア アイーナにて開催済み。 ○2月開催分実績 ・参加求職者 計71人（うちミドル世代は集計中） ・参加事業所 15社 ・面談件数 延べ107件（うちミドル世代は集計中）	・盛岡市
	中高年世代を 対象とした助 成金を活用し た正社員雇用 の促進	特定求職者雇用開発助 成金（中高年層安定雇 用支援コース）	新たに創設された「特定求職者雇用開発助成金（中高年層安定雇用支援コース）」を活用した中高年世代の正社員就職を促進するため、対象求人の確保、面接会の開催、助成金の周知等の取組を進める。	【労働局】 特定求職者雇用開発助成金（中高年層安定雇用支援コース） 125件		・労働局
		トライアル雇用助成金	安定的な就職が困難な求職者に対し一定期間試用雇用する事業主を助成する「トライアル雇用助成金」を活用した、常用雇用移行を促進するため助成金の周知等の取組を進める。	【労働局】 トライアル雇用助成金 支給決定者数 34件		・労働局
		キャリアアップ助成金	有期契約労働者や派遣労働者等の企業内でのキャリアアップを促進する取組を実施した事業主に対し助成する「キャリアアップ助成金」を活用した、中高年世代の有期契約労働者等に対する正社員転換を促進するため、助成金の周知等の取組を進める。	【労働局】 キャリアアップ助成金活用による正社員転換件数 547件		・労働局
人材開発支援助成金		事業主等が雇用した労働者に対し職業訓練等を計画的に実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する「人材開発支援助成金」を活用した、効果的な職業能力開発の実施を促進するため、助成金の周知等の取組を進める。	【岩手労働局】 人材開発支援助成金 3件		・労働局	
				【盛岡市就職氷河期世代求職者常用雇用支援金は、R7年度は計画にありません】	・盛岡市	

<p>■計画期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>■支援対象者 ①不安定な就労状態にある方 ②就労を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方 ③社会参加に向けた支援を必要とする方</p>
--

<p>■目標 ①正規雇用を希望していながら不安定な就労状態にある方や求職中の方などに係る正規雇用者数を増やすことを目標とする。 ②就職を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方については、当事者や家族の希望に応じた支援により、就職活動へ踏み出す支援と就労等の職業的な自立を促す支援につなげることを目指す。 ③社会参加に向けた支援を必要とする方については、支援対象者の状況等を把握し、一人一人の状況に合わせた、就労に限らない多様な社会参加につながる支援体制の構築を目指す。</p>
--

いわて中高年世代活躍応援プロジェクト事業実施計画 工程表

(3) 職業訓練・リカレント教育の推進	ア 就業意欲の喚起	職場実習・体験の実施	中高年世代の方々や企業のニーズを踏まえた職場実習・体験の機会を確保し、業種・職種に対する理解を深め、安定的な就労に向けた支援を行う。	【岩手労働局】 令和6年度で事業終了		・労働局	
		「介護・保育・福祉の就職相談会」の専門ブースにおける就職相談の実施	岩手県社会福祉協議会が開催する「介護・保育・福祉の就職相談会」に専門ブースを出展し、介護等福祉分野への就職相談を実施する。	【岩手県社会福祉協議会】 「介護・保育・福祉の就職相談会」を7/20（日）に開催。55事業所が出展、来場者113名。専門（相談）ブースを設け対応した。		・岩手県社会福祉協議会 ・岩手県 ・労働局	
	イ 職業訓練等の実施による職業能力開発機会の提供	職業能力等の習得に向けた訓練の実施	非正規雇用労働者や求職中の非正規雇用労働者の方が働きながら受講しやすい訓練のため、夜間・土日などの訓練期間を柔軟に設定し、実施方法等を工夫することにより、職場体験等を組み合わせた受講しやすい訓練を実施する。	【高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部】 就職氷河期対策として特例措置に基づく短期・短時間特例訓練が行われていたが、特例措置は令和6年3月31日までとなった。一方、通所を必要としない、もしくは全訓練時間の一部のみ通所を必要とするeラーニング形式の求職者支援訓練として11コース144人分の訓練コースを設定している。 (令和7年4月～令和8年3月開講コース累計)	【高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部】 「複数の事業所で雇用される者、不安定な就労状態にある者（期間の定めのある労働者、短時間労働者、派遣労働者といったいわゆる非正規雇用労働者）等の在職中の特定求職者等、訓練の受講にあたって特に配慮を必要とする特定求職者等」などを対象とする「eラーニングコース」の設定が可能とされたこと。		・高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部 ・労働局
		長期高度人材育成コースの実施（雇用セーフティネット対策訓練の一部）	非正規雇用労働者などを対象として、介護福祉士や保育士などの国家資格を取得し、正社員就職を目指す2年間の民間委託型職業訓練を実施する。	【岩手県商工労働観光部 定住推進・雇用労働室（能力開発担当）】 コース数 29コース、受講者数66人			・岩手県
		生活福祉資金の貸付事業	国家資格等の取得により自立した生活を目指す者に対し、技能習得に必要な経費及びその期間中の生計を維持するために必要な経費の貸付を行う。	【岩手県社会福祉協議会】 長期訓練生計費は令和4年度で終了。 福祉費・技能習得費貸付件数5件（令和8年1月末時点）			・岩手県社会福祉協議会 ・岩手県
		就労移行訓練事業の実施	中高年世代のうち、①不本意ながら不安定な仕事に就いている②無業の状態にある③社会参加に向けた支援を必要とする者を対象に、就労の体験を通じて職業意欲を高める効果と地元就職と雇用のミスマッチ解消に効果がある「就労移行訓練（短期職場体験就業）」を実施する。	【一関市】 R8.1月末時点 KPI実績 ① 就業移行人数（就労体験終了後の就業移行） 目標（R7）：8人 実績：4人 → 目標比 50%達成 ② 就労体験事業（短期職業体験）利用人数 目標（R7）：15人 実績：7人 → 目標比 47%達成 ③ 就労体験事業（短期職業体験）新規受入企業数 目標（R7）：20社 実績：12社 → 目標比 60%達成	【一関市】 就業移行人数および利用者数は、1月末時点の暫定値では目標未達であるものの、一定数の受入企業を確保できていることから、事業基盤の整備は着実に進んでいると評価できる。		・一関市
(4) 職場定着への支援	職場定着への支援	ハローワークにおいて、企業訪問や電話確認等による企業及び本人への定着支援を計画的に実施する。	実績なし			・労働局	
	企業向けセミナーの実施【再掲】	ミドル世代（中高年世代）の採用・育成におけるスキルやノウハウ、県内企業における好事例等を提供することにより、当該世代の採用を促進するとともに、就職後も安心して働き続けられる環境を整えるため、企業向けセミナーを実施する。	【岩手県商工労働観光部 定住推進・雇用労働室】 3回実施 67社78人参加			・岩手県	

<p>■計画期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>■支援対象者 ①不安定な就労状態にある方 ②就労を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方 ③社会参加に向けた支援を必要とする方</p>
--

<p>■目標 ①正規雇用を希望していながら不安定な就労状態にある方や求職中の方などに係る正規雇用者数を増やすことを目標とする。 ②就職を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方については、当事者や家族の希望に応じた支援により、就職活動へ踏み出す支援と就労等の職業的な自立を促す支援につなげることを目指す。 ③社会参加に向けた支援を必要とする方については、支援対象者の状況等を把握し、一人一人の状況に合わせた、就労に限らない多様な社会参加につながる支援体制の構築を目指す。</p>
--

いわて中高年世代活躍応援プロジェクト事業実施計画 工程表

3. 職業的自立の実現に向けた基盤整備に資する取組（長期にわたり無業の状態にある方へ）

項目	取組	取組の概要			実施主体
(1) 相談体制の整備・充実	地域若者サポートステーションの取組強化	地域若者サポートステーション（以下サポステ）の支援対象者年齢を39歳から49歳まで拡充するとともに、福祉担当機関との連携強化を図り、支援対象者を把握し、サポステの周知と利用を促進する。	【労働局】 サポステ相談件数 3,555件		・岩手県 ・労働局
(2) 職業的自立への支援	サポステと就労支援機関との連携	サポステとハローワークの連携を強化し、両者の専門的知見を活用し、個別相談、職場見学・体験、職業訓練等の支援メニューにより、就職・正社員化等の職業的自立の実現を推進する。	【労働局】 サポステ就労件数 154件 サポステ職業訓練あっせん件数 8件		・岩手県 ・労働局
	生活福祉資金の貸付事業【再掲】	国家資格等の取得により自立した生活を目指す者に対し、技能習得に必要な経費及びその期間中の生計を維持するために必要な経費の貸付を行う。	【岩手県社会福祉協議会】 長期訓練生計費は令和4年度で終了。 福祉費・技能習得費貸付件数5件（令和8年1月末時点）		・岩手県社会福祉協議会 ・岩手県
(3) 職場定着への支援	職場定着への支援	サポステやハローワークにおいて、企業訪問や電話確認等による企業及び本人への定着支援を計画的に実施する。	サポステによる定着・ステッププログラム（1ヶ月、3ヶ月、半年、1年経過時点で利用者に対して電話・メール連絡）を実施。		・岩手県 ・労働局

4. 社会参加の実現に向けた取組（社会参加に向けた支援を必要とする方への支援）

項目	取組	取組の概要			実施主体
(1) 市町村PFとの連携	市町村PFとの連携	市町村PFにおける好事例や課題等を収集し、いわてPF内で情報共有し、課題の解決に向けた好事例の全県的波及を図るための必要な検討を行うとともに、市町村PFに還元する。	【岩手県保健福祉部障がい保健福祉課】 令和8年度当初に前年度実績を調査。 ※ひきこもり市町村PFとしては就労関係部署の参画を必須条件としていない。 構成団体に「自立相談支援機関」、「就労準備支援機関」、「ハローワーク」、「地域若者サポートステーション」のいずれかが参画していると回答のあった市町村は10市町村（令和6年度実績）		・岩手県 （保健福祉部）
(2) 相談支援体制の充実	生活困窮者自立支援事業の充実	より丁寧な支援対応が必要な方に対して、アウトリーチによる支援を強化する。	【岩手県保健福祉部地域福祉課】 支援会議で情報共有された支援が必要なケースについて、自立相談支援機関がアウトリーチによる訪問を行い、相談支援を実施している。		・岩手県 （保健福祉部）
	市町村ひきこもり対策への支援	市町村に対する専門的観点からのアドバイス及び市町村との連携を強化する。	【岩手県保健福祉部障がい保健福祉課】 令和8年度当初に前年度実績を調査。		・岩手県 （保健福祉部）
(3) 本人の状況に応じた柔軟な働き方の機会の提供	就労体験・就労訓練先の開拓・マッチング	就労や求職活動を行うための動機付け・準備のために軽易な作業等の就労体験機会の確保等受入れ体制整備について、経済団体や企業等へ要請を行う。	【岩手県保健福祉部地域福祉課】 生活困窮者就労準備支援事業を実施し、ひきこもり傾向にある方、ブランクがある方等の就労に向けた準備が必要な方の支援をしている。		・岩手県 （保健福祉部）
	就労体験・就労訓練先の提供	上記就労体験等の機会の提供等、職場の受入れ体制整備に係る取組を推進する。	実績なし		・経済団体
(4) 支援者の資質向上	生活困窮者自立支援事業の支援者への研修の実施	生活困窮者自立相談支援事業を円滑に進め、支援の充実が図れるよう、県内の生活困窮者自立支援事業における支援者の資質向上のための養成研修を実施する。	【岩手県保健福祉部地域福祉課】 県主催により、令和7年5月13日に第1回目、7月25日に第2回目の人材養成研修を実施したもの。研修では、制度の基礎知識や各事業の概要についての講義のほか、グループワークによる事例検討などを行ったもの。	【岩手県保健福祉部地域福祉課】 令和6年度までは、国主催のブロック別研修で代替実施。	・岩手県 （保健福祉部）
	市町村の支援者等を対象とした研修会の開催	市町村等における支援の充実が図れるよう、岩手県ひきこもり支援センターにおいて、市町村等の支援者を対象に支援に必要な知識及び技術支援の習得に関する研修を実施する。	【岩手県保健福祉部障がい保健福祉課】 令和7年8月9日に岩手県精神保健福祉センター（岩手県ひきこもり支援センター）と障がい保健福祉課の共催で実施。		・岩手県 （保健福祉部）
(5) 支援対象者の把握	ひきこもり等の件数把握	実態調査は30年度に実施しているが、計画期間内にひきこもりの状態にある方からひきこもり相談支援センターや各保健所に寄せられた相談件数等を適宜把握する。	【岩手県保健福祉部障がい保健福祉課】 令和8年度当初に前年度実績を調査。		・岩手県 （保健福祉部）